

PLP講座 第2章～中身を作る

PLP講座 第2章～中身を作る

【2-5】ヒストリー

ヒストリーの目的・意味

ヒストリーは、ページを訪れてくれた人に

- ・あなたが「なぜ」今の仕事・活動をやっているのか？
- ・共感できる人なのか？

を伝えるのが目的。

定性的、主観的に、自分の過去から現在、未来を語る。

よくあるパターンとしては、プロフィールの後に
さらによく知ってもらうために設置する。

(それに執着しないでOK)

ヒストリーの分量

ヒストリーは、読んでくれる方のためになる「自分語り」。

なので、必要であればどれだけ書いてもいい。
ただし、読ませる文章力がないと飽きられるので
目安としては1000～3000文字くらい。

他のことも書いてもよいが、基本的には
今の仕事・活動の背景となることを中心に書く。

ヒストリーに必須の要素

それは

「子供時代の話」

子ども時代のエピソードから、
今の仕事に使命感を持ったという
流れを語ると、信頼感を得やすい。

具体例

【自動車販売員の例】

自動車販売員は、ギャラップ社（アメリカに本社を置く世界的な世論調査会社）の調査によって「最も誠実度が低い職業」と評価されたことのある職業。

【自己紹介A】

はじめまして、イグゼロと申します。

私は入社してから10年になりますが、ここ4年はトップの営業成績を取り続けております。

商品知識に関しても絶えず勉強しておりますので、弊社の車のことでしたら、なんでもご質問いただければと思います。

もちろん、他社さまとの比較も客観的に行いますので、ご遠慮なくお申し付けください。

また、顧客満足度も、アベレージ92.3ポイントを頂戴しております。

誠心誠意、〇〇様のご要望に沿ったお車をご案内させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

【自己紹介B】

はじめまして、イグゼロと申します。

私は同級生が20人しかいない山奥の田舎の学校に通ってました。

娯楽と言えば虫取りくらいしかなかったのですが、この季節はもっぱらカブトムシを追いかけてました。

週末は父に車を出してもらって一人ではいけない山まで虫取りに連れて行ってもらったのが、子供時代の一番楽しい思い出です。

あの時、父の車に乗り込んだ時のワクワク感が今でも忘れられず、一人でも多くのご家族の素敵な思い出作りのお手伝いが出来ればと思って今の仕事に就きました。

本日は〇〇さまにとって最適な車をご案内させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

ヒストリーのテンプレート

生年月日。生まれ。



小さい頃どんな子だったか。生い立ち。
(今の仕事に関わることを書くと分かりやすい)



そこからどのような学生時代などを送ったか？
(今の仕事に関わることを書くと分かりやすい)



仕事歴。今までにどのような仕事をしてきたか？



PLPでアピールする仕事・活動（以下、メイン活動）を
選ぶきっかけ。転機。
(人との出会い、その仕事に初めて触れた、など)

↓ (右へ続く)

メイン活動のスタート期のエピソード。
(初期の苦労、挫折などが共感と呼ぶが、そうでなくても可)



メイン活動が軌道に乗ってきたエピソード



メイン活動へのこだわり。



メイン活動の現在までの実績



メイン活動でのコンセプト、ミッション。



メイン活動以外でのお仕事。



仕事外での活動。趣味。



未来への展望。想い。

ヒストリーのまとめ

ヒストリーは、ページを訪れてくれた人に

- ・あなたが「なぜ」今の仕事・活動をやっているのか？
- ・共感できる人なのか？

を伝えるのが目的。

PLPと他のランディングページの
大きな差を生むブロックなので、
楽しみながら作ってみてくださいね！

PLP講座 第2章～中身を作る

PLP講座 第2章～中身を作る

【2-6】ゴール

ゴールの目的・意味

ゴールは、ページを訪れてくれた人に

・PLPを見た後、やってほしいアクションを決めること。そこから導線を設置してゆく。

「誰に」見て欲しいのか？

そこからどういうアクションを起こして欲しいのか？

導線は、ゴールによって

LINE@登録、問合せ、サービス購入、ブログ閲覧などさまざまなバリエーションがある。

ゴールの決め方

1. 欲しいゴールを全部出してみる



2. 優先順位を決めてゆく（上の項目と順次比較してゆく）

- ・いきなり商品を買って欲しい
- ・メディアに取材されたい
- ・LINE@に登録して欲しい
- ・認知度アップ
- ・有名になりたい
- ・問い合わせして欲しい
- ・ビジネスパートナーと会いたい
- ・キーパーソンと会いたい
- ・
- ・



1. 有名になりたい
2. メディアに取材されたい
3. 認知度アップ
4. キーパーソンと会いたい
5. ビジネスパートナーと会いたい
6. LINE@に登録して欲しい
7. 問い合わせして欲しい
8. いきなり商品を買って欲しい
- ・
- ・

ゴールの注意点

- プロフィールやヒストリーと矛盾しないこと。
(なので、ゴールから先に設定する手も)
- あまりにたくさんゴールを設定しすぎないこと。
多くても3つくらいまで。
メインのゴールは、あくまで1つ。捨てる勇気も必要。
- どうしてもたくさんゴールが欲しい場合は
PLPを複数持つ、という選択肢も考慮する。

ゴールのまとめ

ゴールの設定によって、
PLP全体の構成や各ブロックの順番が大きく変わる。

「誰に」を絞れば絞るほど、PLPを見た方は

「これは、私のためのページだ！」

「こんな人に会いたかった！」

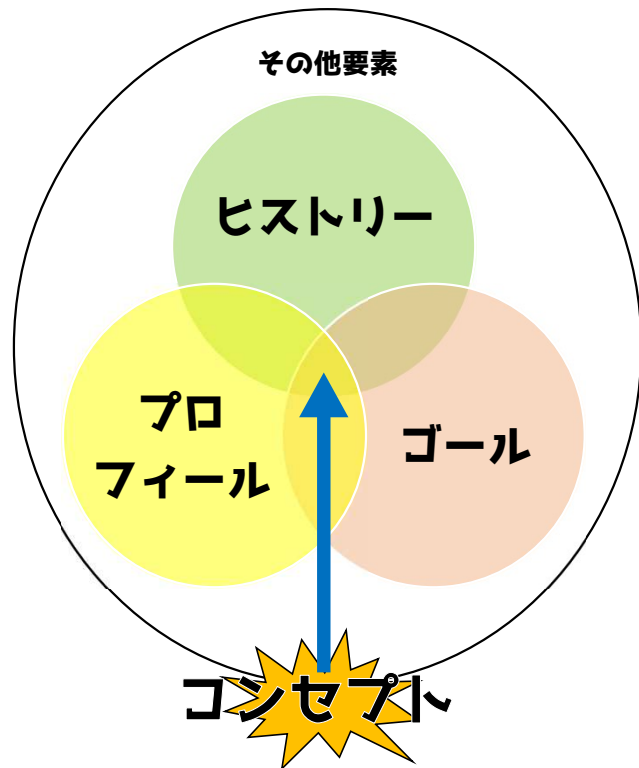
となるので、目的に合ったゴールを設定してくださいね！

PLP講座 第2章～中身を作る

PLP講座 第2章～中身を作る

【2-7】コンセプト

コンセプトの目的・意味



コンセプトは、一枚のPLP全体に一貫性を持たせる**最重要項目**。

コンセプトが出来てから他の要素・ブロックを組み立てていくのが理想だがそうでなくても可。

コンセプトの作り方

「誰に(ゴール)」

「何を(プロフィール)」

「なぜ(ヒストリー)」

から、簡潔な文章でコンセプトを決めてゆく。



コンセプトから、さらに言葉を磨いてゆき

ひとことで自分を表すヘッドコピー(キャッチコピー)を

作成してゆく。

コンセプトの注意点

コンセプトは、

「PLPを見てくださるターゲット」に

「何を」「なぜ」分かってもらいたいのか？が重要。

相当のプロでも忘れがちなのが「**相手目線**」。

コンセプトができたら、自分以外の誰かに見てもらおう。

コンセプト作りのコツ

一人でやっていると、行き詰まることが多い。

なので、前から決まっている場合を別にして
「作ったら、誰かにチェックしてもらおう」を
繰り返して磨いていくことがおススメ！

チェック項目は

- ・ちゃんとターゲット目線になっているか？
- ・他項目との一貫性があるか？
- ・あなた自身が、心からしっくりくるか？

コンセプトのまとめ

PLPを中心に、あなたの活動の根幹をなすものになるので妥協せずに磨いていくことが大切。

とはいえ、あまりに固く考えすぎても動けなくなってしまうので

「あとから修正、ブラッシュアップしてもOK！」
という気持ちを持って、じっくりくるものを作っていきましょう！

PLP講座 第2章～中身を作る

PLP講座 第2章～中身を作る

【2-8】 分かりやすい文章のコツ

文章の大前提

基本的には、文章は自由！

日本語知っててキーボード叩けば、文章はできる！

その上で、「わかりやすい」「もっと読みたい」
と思われる文章の、ちょっとしたコツをシェアします。

文章のコツ 1～見た目

- なるべく一文は短く。目安は60字以内。
- 最大30～40字以内で改行する。石板にしない
- 空白あけをする

猫は犬に比べて熱中症にかかりやすいと思われていますが高温の部屋に閉じ込められたり長時間水分が取れないでいると、呼吸困難、足元のふらつきといった熱中症の初期症状がおこり、重症になると痙攣発作や意識の喪失を起し死に至る場合がありますので、体内の水分が減らないよう家中のいたるところに水を入れたお皿を複数用意して、いつでも好きな時に新鮮な水が飲めるようにしておきましょう。



猫は、犬に比べて暑さに強い動物です。

それでも高温の部屋に閉じ込められたり、長時間水分が取れないでいると、熱中症にかかりやすくなります。

初期症状は、呼吸困難、足元のふらつきなど。重症になると、けいれん・発作や意識の喪失を起し、死に至る場合があります。

熱中症の予防には、体内の水分を減らさないこと。

猫が好きな時に水を飲めるように、水を入れたお皿を、複数枚用意しておきましょう。

文章のコツ2～読みやすさ

- ・ 漢字、ひらがな、カタカナのバランス
- ・ 難しい漢字や表現は（あえてでない限り）使わない。
- ・ 難しい漢字は「ひらく」
（概ね→おおむね 或いは→あるいは などなど）
- ・ 句点も工夫する
（映画もみたいしね→映画も見たいし、ね！）

文章のコツ 3 ～表現

- ・ 同じ言い回しだけにしない(特に文末)
- ・ 同じ言葉を一文では(原則) 使用しない
- ・ 1記事1メッセージ

文章のコツ 4 ～推敲

- ・ 書くより、推敲（見直し）の方に時間をかける
- ・ 声に出して読んでみる
- ・ 相手が見る状態で、自分も読んでみる。

文章のコツ5～上達するために

- ・お手本になる人を決める
- ・とにかく書く！質より量！
- ・多くの文体を習得する。
カメレオンになる（メールのやりとりなど）

文章のコツ 6 ～磨きをかける

- ・相手の知りたい順番、疑問に思った順番で書く
- ・次の一文を読んでもらうために、今の文章を書く
- ・読み手目線！読み手目線！

文章のコツ、まとめ

文章は自由！好きに書くのが一番！
その大前提を忘れずに、
あとは「いかに相手に届くか？」を工夫してゆく。

相手を思いやる「ラブレター」を書いてくださいね！

PLP講座 第2章～中身を作る